

2025年度

B 世界史問題

注 意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべて黒鉛筆または黒のシャープペンシルで記入することになっています。黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。
(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は12ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はⅠ・Ⅱとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のように黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しくずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

(3と解答する場合)

I . 次の文を読み、文中の下線部 1)～19) にそれぞれ対応する下記の設問 1～19 に答えよ。
解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

何か美味しいものを食べたいという気持ちは人類に共通する欲求の 1 つかもしれない。
洋の東西を問わず、人類はその長い歴史のなかで様々な食材¹⁾を試し、数多の調理法²⁾を創出してきた。こうした食の探求は地域ごとの多彩な文化を形成し、さらには各国の宗教や政治とも深く関わってきた。

古代から塩は食料保存や味付けのために利用されてきた一方で、宗教儀式にも用いられてきた。聖書には宗教的なシンボルとして塩に言及する場面が数多く見られる。ユダヤの民が「あなたの神との契約の塩³⁾を献げ物から絶やすな」と命じられ、キリストが「あなたがたは地の塩である」と使徒たち⁴⁾に説教する場面は、まさにそれを象徴している。塩は味が変わりにくいことから約束のシンボル⁴⁾とみなされたようである。塩のもつ安定性や恒常性は日常生活の中でも重視され、サル（塩）というラテン語⁵⁾は、サラミやサラダなど多くの食べ物の語源となった。

香辛料の使用は料理の幅を大きく広げるものであった。とくに中世のヨーロッパでは、古くなった生鮮食品の臭いを抑えたり、塩漬け肉の塩味を緩和する上で重宝された。こうした香辛料の原産地はインド西岸や東南アジアの島々であり、8 世紀ごろからムスリム商人⁶⁾が交易ルート⁶⁾を築いていたとされる。やがて十字軍の遠征⁷⁾が始まると、バグダードやコンスタンティノープルを経由して、主にヴェネツィア⁸⁾からヨーロッパ各地へとコショウが流通するようになった。⁹⁾

今日では日常の食卓に並ぶ品々も、かつては高級品として扱われていた歴史が存在する。ホワイトアスパラガスは「貴婦人の指先」や「食べる象牙」とも呼ばれるほど高級野菜の代表格であった。フランスのルイ 14 世はこのアスパラガスが好物であり、ヴェルサイユ宮殿¹⁰⁾の庭園内にある「王の菜園¹¹⁾」では 6000 本もの苗が栽培されていたという。

同様に、高級な飲み物としてヨーロッパの王族や貴族たちによって親しまれたのがココア¹²⁾である。16 世紀から 17 世紀にかけて、ポルトガルの宮廷¹³⁾では専門のココア担当官が置かれるほどであった。この宮廷ココア担当官は、王室や宮廷貴族のため豪華に演出したココアを提供するとともに、健康増進が期待される薬品として軍の病院でこれを処方することもあった。

宗教が食文化のあり方に大きな影響を与えることもある。インドでは不殺生を説くヒンドゥー教¹⁴⁾やジャイナ教の影響もあって、肉食を避ける食文化が発展してきた。代わりに豆¹⁵⁾とミルクを利用した料理でたんぱく質を摂取する食習慣が定着し、現在でも種々の豆類や

生乳の生産量で世界有数となっている。ダール（小型豆類）のカレーやチャイ（ミルクティー）はまさにこうしたインドの食文化を代表するものと言えよう。

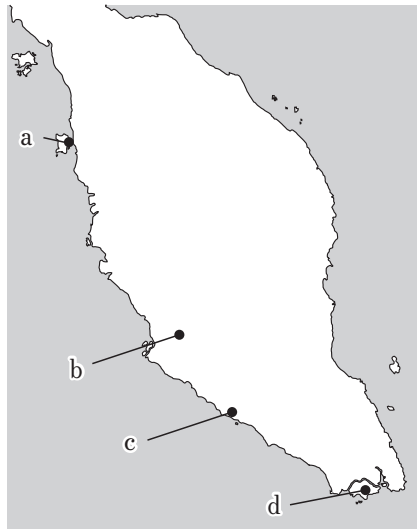
植民地支配や人の移動が独特の食文化を形成することもある。16世紀から19世紀末までスペインによる統治時代が続き、中国商人の往来も盛んだったフィリピンでは、パエリア（スペイン風の炊き込みご飯）を現地の食材でアレンジした料理¹⁶⁾があるかと思えば、中華料理のように甘酢あんをかけた魚の揚げ物にスペイン風の名前がついていることもある。また、イギリスの海峡植民地であったペナン、マラッカ、シンガポールでは、同地に移住してきた中国商人が現地人と結婚したことで、中国料理、マレー料理、インドネシア料理、タイ料理などが融合したニョニャ料理が生まれた。ニョニャ料理では、¹⁸⁾筍、干しシイタケ、¹⁹⁾豆腐、醤油といった中国風の食材・調味料とともに、ココナッツミルクやココヤシ油、コリアンダやレモングラスも使用される。

今日、私たちの目の前に並ぶ食材や料理には多くの歴史が詰まっている。単に食べ物として味わうだけでなく、それぞれの料理の背後にある歴史の歩みに思いを馳せてみてはどうだろうか。

1. アメリカ大陸から世界各地に伝播した食材として正しくないものはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。すべて正しい場合は、e をマークせよ。
a. カボチャ b. サツマイモ c. サトウキビ d. トウモロコシ
2. このうち、動物性たんぱく質を摂取するうえで、火の利用は人類史上の画期をなしたと言える。火の利用で知られる原人の骨が出土した北京郊外の場所の名をしるせ。
3. 14世紀のイギリスでこの書の英訳を試み、宗教改革の先駆をなした人物は誰か。その名をしるせ。
4. このうちの一人は後にローマで殉教し、初代教皇として位置づけられるようになった。この人物の名をしるせ。
5. 次の作品のうち、原典がこの言語で書かれていないものはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。あてはまるものがない場合は、e をマークせよ。
a. 『アエネイス』 b. 『ガリア戦記』 c. 『ゲルマニア』 d. 『対比列伝』
6. このうちクローヴやナツメグなどの主産地で、香料諸島とも呼ばれた島々の総称をしるせ。
7. こうした人々がインド洋交易の活動に用いた、三角形の帆を特徴とする木造船を何と呼ぶか。その名をしるせ。

8. この活動の最後の拠点となり、1291年にマムルーク朝の攻撃を受けて陥落した海港都市の名をしるせ。
9. この都市は1866年にイタリア王国によって併合された。それ以前に帰属していた国の名をしるせ。
10. この人物に仕えて王権神授説を説き、絶対王政を理論的に擁護した思想家は誰か。その名をしるせ。
11. この宮殿に関係のある出来事や事柄の説明として正しくないものはどれか。次の a ～ d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。すべて正しい場合は、e をマークせよ。
- a. この宮殿で結ばれた第一次世界大戦の講和条約にアメリカは不参加であった
 - b. フランス革命の時期に女性を中心とする民衆がパリからこの宮殿まで行進した
 - c. フリードリヒ 2 世はこの宮殿に影響を受けてポツダムにサンスーシ宮殿を建てた
 - d. プロイセン王ヴィルヘルム 1 世はこの宮殿でドイツ皇帝に即位した
12. この飲み物を愛好していた人物として啓蒙思想家のヴォルテールがいる。この人物に関する記述として正しくないものはどれか。次の a ～ d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。すべて正しい場合は、e をマークせよ。
- a. イギリスを模範とし、フランスの後進性を批判した
 - b. 中国との比較によってヨーロッパの国家体制を論じた
 - c. プロイセンのフリードリヒ 2 世によって宮廷に招かれた
 - d. ロシアのエカチェリーナ 2 世に対し、改革に関する助言をおこなった
13. 1999年、この国から中国に返還された都市の名をしるせ。
14. この宗教の説明として正しくないものはどれか。次の a ～ d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。すべて正しい場合は、e をマークせよ。
- a. この宗教では破壊と創造の神シヴァが主神の一つとされた
 - b. パラモン教とインド各地の民間信仰が融合することで、この宗教が生まれた
 - c. 『マヌ法典』はこの宗教を信じる人々の間で規範として影響力をもった
 - d. 南インドでバクティ運動が盛んになると、この宗教は一時衰退した
15. この宗教の開祖は誰か。その名をしるせ。
16. この国の知識人で、スペインに留学し、小説『われにふれるな』を書いて植民地支配を批判する言論活動を展開した人物は誰か。その名をしるせ。

17. このうちペナンの場所はどこか。地図上の a～d から 1 つ選び，その記号をマークせよ。



18. 2002年にこの国からの独立を果たした国の名をしるせ。
19. 1782年から現在まで続くこの国の王朝の名をしるせ。

Ⅱ．次の文を読み、文中の下線部1)～12)にそれぞれ対応する下記の設問1～12に答えよ。

解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

古代メソポタミアにおいて、シュメール人は商品の在庫管理のために粘土板を帳簿として用いていた。ハンムラビ法典¹⁾では帳簿の記録についての定めがある。

中世ヨーロッパ²⁾では、商業の発展とともに帳簿の役割がさらに重要になった。14世紀から15世紀にかけて、イタリアの商人たちが帳簿を記録する方法として複式簿記を適用し、商業活動の正確な記録と管理を実現した。メディチ銀行はイタリアを中心としてヨーロッパの商人の取引を支援した。メディチ銀行が支店を運営する際にも帳簿が活用された。ルカ＝パチョーリ³⁾が1494年に著した『算術、幾何、比、および比例総覧』で複式簿記の理論⁴⁾が体系化され、この著書にもとづく専門書によって複式簿記がヨーロッパ全土に広まった。この背景にはグーテンベルクらの活版印刷の技術の改良によって広がった出版文化⁵⁾が挙げられる。

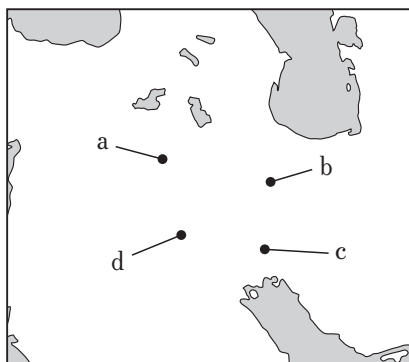
16世紀から18世紀にかけて、ヨーロッパ各地で帳簿の活用が進み、帳簿は国家の財政管理にも影響を与えるようになった。オランダでは、1602年にオランダ東インド会社⁶⁾が設立され、組織の活動を運営していくうえで帳簿が重要な役割を果たした。フランスでは、1665年に財務総監に任命されたコルベール⁷⁾によって国家の財政改革が行われ、帳簿を用いた厳密な国家の財政管理が導入された。

産業革命期のイギリスでは、帳簿の役割が企業経営において不可欠なものとなった。製造業⁸⁾の発展にともない、工場の生産管理や製品の原価計算が重要視されるようになり、これらの経営管理に帳簿が重要な役割を果たした。

19世紀から20世紀にかけて、アメリカは急速な経済成長とともに会計の発展を牽引した。巨額の資本を必要とする鉄道会社で帳簿の粉飾が横行するなか、1887年にアメリカ会計士協会が設立された。これにより、企業の帳簿の監査に関する制度が整備されるようになった。第2次産業革命によってアメリカ経済が拡大するなか、会計の専門的な教育が進んだ。¹⁰⁾1929年のニューヨーク株式市場における株価の大暴落とそれに続く大恐慌¹¹⁾は、会計基準の制定や監査制度の強化、投資家への情報開示が進むきっかけとなった。

現代においては、大量生産・大量消費型の経済から持続可能な経済への転換が進んでいる。企業経営においても持続可能性¹²⁾が重視されている状況下において、帳簿は企業の会計報告や経営管理に不可欠なツールであり続けている。

1. 彼らの文明で創始された楔形文字の解読の手がかりを示した人物は誰か。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。あてはまるものがない場合は、e をマークせよ。
a. エヴァンズ b. シュリーマン c. リヴィングストン d. ローリンソン
2. この法典が記された碑が発見された都市はどこか。地図上の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。あてはまるものがない場合は、e をマークせよ。



3. この一族に関する次の問 i～iii に答えよ。
 - i. この一族が政治支配権を握った地域として正しいものを次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。あてはまるものがない場合は、e をマークせよ。
a. ナポリ b. フィレンツェ c. ミラノ d. ローマ
 - ii. この一族からフランスに嫁いだカトリーヌ＝ド＝メディシスが関与したとされる 1572 年の事件の名をしるせ。
 - iii. 贖宥状をドイツで販売し、ルターの宗教改革のきっかけの 1 つをつくったこの一族出身の教皇の名をしるせ。
4. この人物と親交があったレオナルド＝ダ＝ヴィンチは晩年にフランス国王の宮廷に招かれた。この国王の名をしるせ。
5. これに関連して、後漢の時代に中国で製紙法を改良した人物の名をしるせ。
6. この会社の根拠地としてあてはまるものを次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。あてはまるものがない場合は、e をマークせよ。
a. カルカット b. バタヴィア c. ポンディシェリ d. マドラス
7. この人物が推進した政策としてあてはまらないものを次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。すべてあてはまる場合は、e をマークせよ。
 - a. 王立マニュファクチュアを創設した
 - b. 外国製品の輸入を奨励した
 - c. 国内産業を保護・育成した
 - d. 東インド会社を再建した

8. これに関する次の問 i ～ iii に答えよ。

- i. 工業製品の増産に成功したイギリスは、その輸出先として清の市場開放を求める使節を派遣した。18世紀末にその使節を率いた人物の名をしるせ。
- ii. 製造業の発展にも貢献した蒸気機関によって1830年にイギリスにおける2つの都市間を結ぶ鉄道が生まれた。その鉄道路線を地図上の a ～ d から1つ選び、その記号をマークせよ。



- iii. この進展とともに労働問題が生じ、さまざまな社会思想がうまれた。1840年に『所有とは何か』を著し、国家の権力や労働にもとづかない所有などを否定したフランスの無政府主義者の名をしるせ。

9. この国に関する次の問 i ・ ii に答えよ。

- i. この国の発展は、奴隷制によっても支えられていた。奴隷制をめぐる南部と北部の利害調整のために1820年に結ばれた協定の名をしるせ。
- ii. 1905年に戦争状態にあった日本とロシアの間をこの国の大統領が仲介し、ポーツマス条約が締結された。この大統領の名をしるせ。

10. これに関する次の問 i ・ ii に答えよ。

- i. アメリカでは大企業による市場の独占が進んだ。その代表例であるスタンダード石油の創設者は誰か。その名をしるせ。
- ii. 鋳鋼工業を創設したことから始まり、大砲などの兵器を製造する軍需企業に発展したクルップ社はどの国の企業か。次の a ～ d から1つ選び、その記号をマークせよ。

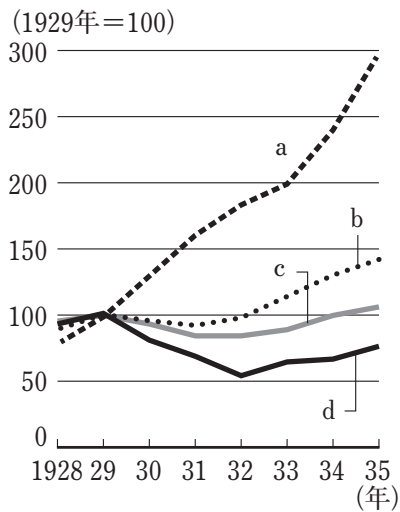
あてはまるものがない場合は、eをマークせよ。

a. イギリス b. イタリア c. ドイツ d. フランス

11. これに関する次の問 i・ii に答えよ。

i. 大恐慌を契機として、1931年に賠償・対米戦時債務支払いの1年間停止を宣言したアメリカの大統領の名をしるせ。

ii. 次の図は、この時期前後の各国の工業生産の推移を、1929年を100としてあらわしたものである。この中でソ連はどれか。図中のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。



12. このような特徴をもつ社会を表現した以下のポップ＝アート作品の作者の名をしるせ。



【以下余白】

